

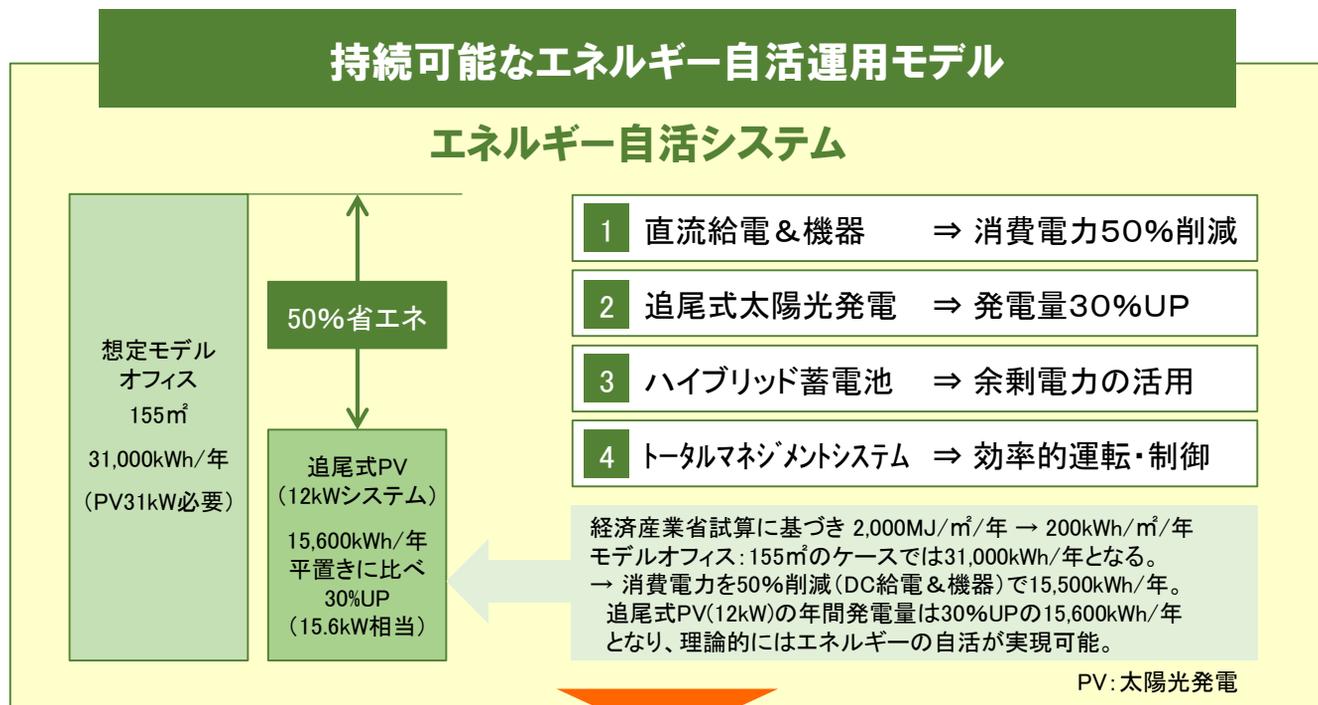
# 業界に先駆け エネルギー自給率100%「自活型スマートオフィス」システム商品化に向けた実証実験を開始

日本テレネット株式会社(注1)は、このたび株式会社村田製作所(注2)、CONNEXX SYSTEMS株式会社(注3)と共同で、エネルギーの自活を可能とする「自活型スマートオフィス」システムの実証実験を開始致しました。

2020年までに新築住宅を含む建築物に対して、段階的に省エネ基準の適合義務化が閣議決定された事に象徴されるように、家庭から産業に至る全ての分野において、省エネに対する取り組みが急速に広まっています。個人住宅のZEH(ゼロエネルギーハウス)、ビルのZEB(ゼロエネルギービル)で定義される“一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロ”、すなわちエネルギーの完全自活は、社会全体の要求事項となっています。エネルギーの完全自活のためにはエネルギーの消費量を減らす事と、再生可能エネルギーの効率的活用が必要となります。この実現のためには直流～交流の変換ロス無くす事が効果的であり、弊社ではこれまでの太陽光発電事業を通じてこの点にいち早く注目してきました。

今回実際に実務をおこなう事務所を使って実証実験をおこない、エネルギー自給率100%「自活型スマートオフィス」のシステム商品の開発を実施します。

## 1. 実証実験の概要と具現化目標



**エネルギー自給率 100%**

## 2. 実証実験スケジュール

1	PVシステムと直流給電インフラ結合による試験運用 ⇒追尾式太陽光発電システムとMPPTコンバータ等の接続による実験オフィスへの直流給電開始	2015年12月7日～
2	蓄電池接続による夜間及び、曇り・雨天時の給電 ⇒鉛+LIBによるハイブリッド蓄電池接続による夜間電力の自活実験開始	2016年1月～
3	直流に対応した必要機器への置き換え ⇒LED照明、空調、コピー機器などのOA機器を直流対応の機器に順次置き換え	2016年2月～6月
4	トータルシステムによる効果の検証 ⇒追尾式太陽光発電システムによる発電量向上効果、直流給電による省エネ効果の検証	2016年4月～

### 3. 実証実験場所

1	PVシステムと直流給電インフラ結合による試験運用 ⇒KICK Smart Life 研究所(注4)、エコリンクス株式会社(注5)
2	蓄電池接続による夜間給電 ⇒KICK Smart Life 研究所、エコリンクス株式会社 コールセンター、株式会社村田製作所、CONNEXX SYSTEMS 株式会社)と共同実験
3	直流に対応した必要機器への置換え ⇒KICK Smart Life 研究所、エコリンクス株式会社 コールセンター、株式会社村田製作所と共同実験
4	トータルシステムによる効果の検証 ⇒KICK Smart Life 研究所、エコリンクス株式会社 コールセンター、株式会社村田製作所、CONNEXX SYSTEMS 株式会社と共同実験

### 4. 今後の展開目標

日本テレネット株式会社は、追尾式太陽光発電システムによる発電量30%UPと、トータルマネジメントシステムを用いた直流給電システムおよび対応省エネ機器による消費電力50%削減、さらに蓄電池の最適コントロールを可能とするオフィス向け「自活型スマートオフィス」の早期商品化を目指します。  
また、実用化の際にはエコリンクス株式会社を通じ、BtoB市場に向け当該システムの販売・普及を目指します。

## 【実証実験用 直流給電システム】



左から日本テレネット サーバーシステム、CONNEXX SYSTEMS 蓄電池、村田製作所 直流給電システム

#### ■注釈

- 注1 日本テレネット株式会社  
本社:京都府京都市、代表取締役会長:瀧 栄治郎、代表取締役社長:古川 昌美
- 注2 株式会社村田製作所  
本社:京都府長岡京市、代表取締役社長 村田 恒夫
- 注3 CONNEXX SYSTEMS株式会社  
住所:京都府京都市、代表取締役社長 塚本 壽
- 注4 KICK Smart Life研究所  
住所:京都府木津川市、所長/工学博士:榎屋 治紀
- 注5 エコリンクス株式会社  
住所:京都府木津川市、代表取締役会長 兼 社長 瀧 栄治郎

#### 本件に対するお問い合わせ

日本テレネット株式会社 KICK Smart Life 研究所  
担 当: 川由 信行  
メー ル: kick.info@nippon-tele.net  
電話番号: 050-3116-6900(エコリンクス内)